

テラヘルツテクノロジーフォーラム通信

Vol.8, No.1

「組織改編とテラテックが目指す方向性について」

戦略企画委員長 大谷知行（理化学研究所）

すでにご承知の通り、6月18日の総会での承認をへてテラヘルツテクノロジーフォーラムは新たな組織でスタートすることとなりました。本稿ではその趣旨について述べたいと思います。2003年のテラテックフォーラム創設から7年が経過し、「テラヘルツ」というキーワードを耳にする機会もだんだんと増えてきました。このように国内外の研究・開発のアクティビティが高まるなか、応用に近い場所に位置するテラテックフォーラムは、日本のテラヘルツ分野のハブ機関としてこの分野を盛り立てていくとともに、真のテラヘルツ波の利用・産業化に向けてさらに活動性を高めていく必要があります。とりわけ、昨今の厳しい経済状況の中でサポートを頂いている会員に対して、メリットが感じられるサービスを提供するとともに、それをテラヘルツ分野の活性化に繋げて行く必要性を強く感じています。そこで、テラテックフォーラムが担う役割をいま一度振り返り、その遂行に適した組織の再構成を行うことにしました。

そこでまず、幹事会に代わって重要な意思決定を行う会である理事会を発足させ、その決定プロセスや責任の所在を明確化しました。理事会は、会長、副会長、各委員会の委員長、理事から構成され、フォーラムの事業遂行に責任を持ちます。次に、アクティビティの活性化、役割分担の明確化、および、会員サービスの向上を目指して、学術情報、研究交流、戦略企画、総務の4つの委員会を置きました。それぞれの委員会の役割は以下の通りです。

- ・学術情報委員会… 国内外の情報収集・発信、ニュース発刊、HPの更新
- ・研究交流委員会… 各部門の活動を通じて研究会や産学交流事業を実施
- ・戦略企画委員会… 事業企画、将来構想（ロードマップを含む）の策定
- ・総務委員会… その他、総務に関する事項

さらに、研究交流委員会のもとに様々な活動のコンテンツを創出する5つの部門を設けました。これにより、各部門がコンテンツを創出して研究交流委員会がそれをまとめ、学術情報委員会が会員や社会に情報発信するとともに、中・長期的な戦略や企画を戦略企画委員会が議論・策定していくことで、短期的なスパンから長期的な戦略までをカバーしていくことを目指しています。